

の利益を与えることは、生産事業や社会に悪い影響をおよぼすという理由から、同一条件の運送については、すべての利用者に対して同一の取扱いをするという義務が課せられている。すなわち利用者に特典を与えるということが禁止されているのである。また国全体として産業を片寄って発達させないため、地理的な条件を緩和して産業を全国に平均的に分布する目的で、統一的な運賃を適用するという義務すなわち線区の繁閑にかかわらず全区間に対して、同一の賃率を適用するという義務が課せられている。その他わが国ではとくに運賃水準の決定についても厳重な法的制約を受けている。なお鉄道は独占時代から従価賃率制、負担力主義賃率制を踏襲し、すなわち消費者の負担力を考慮して、負担力の多いぜい沢品等に対しては高い運賃を定め、生活必需品のような負担力の少ない貨物に対しては低い運賃を課しているのであるが、この賃率制を維持して鉄道が成立ってゆくためには、低級な貨物運送による収入の不足分を高級な貨物運送による余剰によってまかなってゆかなければならない。すなわち高級な貨物も低級な貨物も一手で送って全体として収支を整えるということ(総合的な収支調整計算、すなわちいわゆる総体原価主義)が必要なのであるが、現在では自動車が発達して高級貨物を自動車に取られるという点から、この公共的な負担力主義の賃率制を維持することがすこぶるむずかしくなってきたのである。

鉄道と自動車との存立条件を均等にして交通の調整をはかるためには、鉄道を以上述べたような公共的義務から解放するか、または自動車に対しても鉄道と同様な公共的義務を与えるかという2つの道がある。いずれの方法をとるにしても、実行に非常な困難がある。この方法のいずれか一方だけをとるという二者択一的方法で調整することはむずかしいであろう。恐らくこの公共義務のあるものについては第1の方法をとり、他のものについては第2の方法をとるというのが適当であろう。もし鉄道を公共経済的な義務から解放するとしても、これを一挙に行うことは百年近くの間、鉄道の公共経済的経営措置に依存してきた産業と国民層に相当な打撃を与えることになるから、革命的でなく、エボリュショナルに徐々にこれを行わねばならないであろう。運賃制度を修正するとしても、従価賃率の緩和とかある程度の特約運賃を許すとかの程度から着手しなければならぬであろう。

鉄道運輸と自動車運輸の調整をはかるためには、ただこの2つの交通機関の競争基盤、存立条件を均等にすることだけでは達成されない。この2つのものがそれぞれのその特質に適した分野に活動しながら総合されて、国家全体の交通需要を十分かつ経済的に充足するような協力手段がとられなければならない。これについてはフランスで行われている鉄道と自動車の共同輸送とか、ドイツで提案されている鉄道と自動車の協力による戸口賃率の設定等がわが国においても参考となる適当な方法だと思われる。

自動車のみならず船舶および航空機の急速な発達があり、ために鉄道政策は今や重大な転換期に当面している。鉄道はもはや独占的交通機関ではない。鉄道政策はあくまでも総合交通政策の一環であらねばならぬ。したがって鉄道政策の樹立に当たっては、視野を単に鉄道固有の領域のみに限ることなく、広く国民経済的の観点から鉄道が他のすべての交通機関と併存してその適正な分野における使命を遂行して、よって国民経済全体における交通の需要と提供とが均衡を得て、国全体の交通需要が各種交通機関によって浪費なく、必要にしてかつ十分な程度において充足されるように考慮されねばならない。→鉄道

運賃政策。(片岡調郎)

てつどうせいしんのうた 鉄道精神の歌 鉄道精神の高揚

鉄道精神の歌

北原白秋 作詞

山田耕筈 作曲

1. とどろ けてつり ん わが この-せいしん - かが
2. とどろ けてつり ん わが この-だんけつ - かが
3. とどろ けてつり ん わが この-でんとう - かが

や く 使め い は げん たり ひび けり - は
や く まし と は りん たり とお けり - は
や く た まし と は りん たり とお けり - は

え あれ こ う つう おも えよ こく う ん ほ
え あれ こ う つう おも えよ こく う ん ほ
え あれ こ う つう おも えよ こく う ん ほ

う こ う ひと え - に 身をも て さ げ ん
う あい あら た - に 和し う つす ま ん
う よう あさよ - に 知 う をみ が ん

国鉄 国鉄 国鉄 国鉄 い ぶる え わ れ ら わ れ ら だ
国鉄 国鉄 国鉄 国鉄 い ぶる え わ れ ら わ れ ら だ
国鉄 国鉄 国鉄 国鉄 い ぶる え わ れ ら わ れ ら だ

い かぞ く 三 十 一 人 ぶ - る え わ れ - ら -
い かぞ く 三 十 一 人 ぶ - る え わ れ - ら -
い かぞ く 三 十 一 人 ぶ - る え わ れ - ら -